



J R 春日井駅周辺

バリアフリー基本構想

平成20年3月  
春日井市

## はじめに

春日井市は、鉄道や道路などの交通施設に恵まれ、土地地区画整理事業を中心とする都市基盤整備による住環境の整備を積極的に進め、今や人口30万人を擁する中部圏の中核都市として発展し続けております。



一方、「少子高齢・人口減少社会の到来」という全国的な時代潮流は、当市においても例外ではなく、人口が増加することを前提とした成長型社会から質を高めることを重視した成熟型社会へ転換していくことが求められています。

こうした中、高齢者や障がい者の方々など誰もが、旅客施設及びその周辺の歩行空間を不自由なく移動できる環境の整備は、高齢社会に適応した今後のまちづくりにおいて重要な課題であります。

こうした背景のもと、JR春日井駅及びその周辺地区は市の顔として、また、多くの人々が行き交う地区であることから、このたび「JR春日井駅周辺バリアフリー基本構想」を策定しました。

この基本構想は、各種の市民団体や有識者、交通事業者、関係行政機関の代表で組織した「春日井駅周辺バリアフリー基本構想作成協議会」において協議をいただくとともに、アンケート調査や地区住民の方々などのご協力による現地調査を実施し、貴重なご意見等をいただくなかで作成いたしました。

今後、この基本構想に基づき、関係する事業者と連携をとりながら、市民の皆様との協働により誰もが住み続けたくなる安全で快適な人にやさしいまちづくりを進めてまいります。

最後に、この基本構想の作成にあたり、多大なるご尽力を賜りました関係各位に心から感謝を申し上げます。

平成20年3月

春日井市長 伊藤 太